



いいもの成らせるさくらんぼ便り

「高温に負けない」さくらんぼ通信

双子果対策 来年の双子果の発生が決まるのは今！対策は確実に！



- 7月中旬～9月上旬に高温になると翌年に双子果が増加！
- 7月29日頃からは、高温が続く見込み！（仙台湾気象台）
- 基本的な対策に加え、多発園では応急的な対策も実施！

◆ 双子果対策 ～ 例年発生が多い園や樹は対策を徹底 ～

＜ 双子果の多い品種・部位 ＞

- ・主要品種の中では「**紅秀峰**」 ・**明る過ぎる園地**（枝数が少ない樹）
- ・**樹勢が弱い樹** ・**日当たりの良い部位**（樹上部、南側・西側の枝など）

I 基本的な対策

（1）夏季剪定は実施しない又は時期を遅くする

【対応】① **基本的に実施しない**

② 樹勢が極端に強い場合は、**9月上旬以降に実施（気温が下がってから）**

【注意点】「**紅秀峰**」は、双子果が発生しやすく樹勢も低下しやすいため**実施しない**

（2）定期的な灌水

- ・灌水は、下表を目安に、朝夕の涼しい時間帯に行う

灌水設備がある場合	灌水設備がない場合
スプリンクラー等で1週間に1回を目安に、20～30mm程度	幹回りを中心に100～200L/樹/週 幼木は幹回りの地面を稲わら等でマルチ

（3）病害虫防除

＜褐色せん孔病＞ 収穫直後から10～14日間隔で、5回以上、散布

＜ハダニ類＞ こまめに発生状況を確認し、かかりムラがないよう丁寧に散布

＜カイガラムシ類＞ 第2世代がみられ始めるため、園地の状況を確認し、8月上旬に枝幹部に薬液がかかるよう十分量を散布

2 応急的な対策

（1）遮光資材の設置

【期間】**9月上旬まで**

【方法】**50%程度の遮光資材**を
雨よけの天井部等に設置

【注意点】花芽の充実不良を防ぐため、9月中旬には撤去

■ 現地での対策事例

- ・反射シート（白色、幅1.8m）を南面や西面にパッカーで設置し、部分的に遮光



■ 双子果対策の詳細はマニュアルを確認

やまがたアグリネット会員限定
（無料で会員登録可能）

こちらから
アクセス



こまめに休憩し、水分・塩分を補給！熱中症対策は万全に！
～夏の熱中症等声かけ期間実施中～積極的に声をかけ合い事故を防ごう

村山総合支庁農業技術普及課
TEL 023-621-8291

西村山農業技術普及課
TEL 0237-86-8301

北村山農業技術普及課
TEL 0237-47-8630

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会（事務局：農林水産部園芸大国推進課・農業技術環境課）